

◆ 2010 年度 日本木材学会中部支部大会（金沢）の実施概要

石川県林業試験場 小倉光貴

2010 年 10 月 28 日（木）～29 日（金）に 2010 年度日本木材学会中部支部大会が金沢市広坂の石川県立生涯学習センターを主会場として開催されました。

1 日目は午後 1 時から研究発表（口頭発表 2 会場、19 件）が、午後 4 時から展示発表（17 件）が行われました。当日の参加者は 57 名で、内訳は大学教員 16 名、学生・院生 18 名、公設試等 16 名、独立行政法人 4 名、民間企業 3 名でした。

午後 6 時から会場を市内大手町の KKR 金沢に移して懇親会が催され、日本木材学会本部から服部会長のご参加を頂き、総勢 38 名の参加で和やかなひとときを過ごしました。

2 日目は朝、評議員会が開催され、支部の事業および予算に関する報告や計画が承認され、学会本部から出席頂いた服部会長より、法人化後の対応や代議員選挙について説明を頂きました。

続いて、金沢市歴史建造物整備課の石浦裕治氏を講師に招いて、「金沢市における歴史的な町並み保存・景観保全への取組」と題して特別講演が催され、歴史的町並みを文化遺産と観光資源の両面から活かすための行政、技術的見地からの施策について紹介があり、講演終了後も熱心な質疑が行われました。

その後、バスで郊外の古民家展示施設「金沢湯涌江戸村」へ移動し、民家移築と保存の状況について見学し、午後 1 時に金沢駅で解散しました。

なお、来年度の支部大会は静岡大学において開催されます。

◆ 2010 年度 日本木材学会中部支部大会（金沢）の実施概要

石川県林業試験場 小倉 光 貴

2010 年 10 月 28 日（木）～29 日（金）に 2010 年度日本木材学会中部支部大会が金沢市広坂の石川県立生涯学習センターを主会場として開催されました。

1 日目は午後 1 時から研究発表（口頭発表 2 会場、19 件）が、また、午後 4 時から展示発表（17 件）が行われました。当日の参加者は 57 名で、内訳は大学教員 16 名、学生・院生 18 名、公設試等 16 名、独立行政法人 4 名、民間企業 3 名でした。発表題目を以下に紹介します。

口頭発表 A 会場（8 件）

- 「ユーカリ材木部繊維壁のヤング率の大きさを支配する因子 — ミクロフィブリル傾角およびセルロースの寄与」
- 「スギ心材ノルリグナン含有量・組成と心材色・材質との相関」
- 「カラマツ (*Larix kaempferi*) 外樹皮のポリフェノール成分」
- 「タブノキ (*Machilus thunbergii*) 樹皮抽出物摂取によるマウスのコレステロール低減作用」
- 「固体 NMR によるタケの脱リグニン過程の解析」
- 「逆ミセル反応系におけるコニフェリルアルコールの酵素的脱水素重合」
- 「木材の微細構造変化に関する研究 (示差走査熱量測定および顕微赤外分光法による検討)」
- 「柿渋および柿渋塗料の屋外耐候性」

口頭発表 B 会場（11 件）

- 「高ヤング率スギ品種作出に向けた精英樹挿し木系統の評価」
- 「国産製材の密度 — 曲げヤング率データベースの特性分析」
- 「長野県産アカマツ・カラマツの縦圧縮試験の結果」
- 「鋼管を用いたドリフトピン接合部の強度特性」
- 「高密度材を含む木質工場廃材のボード原料適性」
- 「熱圧縮時におけるマット内部の温度分布に及ぼす製造因子の影響」
- 「国産主要 4 樹種から製材した桁材の蒸気・高周波複合乾燥試験」
- 「能登ヒバ高温乾燥材のねじれと含水率分布の経時変化」
- 「ハイパースペクトルイメージングによる木材中の含水率のモニタリング」
- 「小径間伐材多使用住宅における温湿度環境」
- 「木造モデルの温熱環境に及ぼす構法の影響」

展示発表（17 件）

- 「カラマツ研究文献リストのタイトルからみる半世紀にわたる研究対象の推移」
- 「和音がでる木琴音板の試作」

- 「古建築部材の応力波伝播特性とヤング率の推定」
- 「ヒノキ曲がり材の曲げ強度性能比較」
- 「木質接合部における粘着テープの応用（Ⅰ）－はく離・せん断強さ－」
- 「水分非平衡状態におけるスギ材のクリープ破壊」
- 「中間電極を導入した高周波インピーダンス法による枝材・丸太の水分分布計測（第2報）」
- 「高周波加熱を使用した大断面材乾燥スケジュール」
- 「曲げ性能を指標とした木質パネルの耐久性能評価」
- 「屋外曝露によるバイオマスボードの変形」
- 「非 CCA 防腐剤注入木材の 10 年間屋外曝露耐候性」
- 「木酢液のナメクジ類に対する忌避効果 その 3－濃縮木酢液の浸漬量と忌避効果の持続性の検討－」
- 「疎水化木粉を用いた混練型 WPC の混練特性に関する研究」
- 「爆砕木粉による多環芳香族炭化水素の吸着に関する研究」
- 「ヒノキ樹皮炭化物の吸着特性」
- 「褐色腐朽菌アオゾメタケによるジフェニルエーテルの分解」
- 「稲わらの酵素糖化とバイオエタノールへの変換」

午後 6 時から会場を市内大手町の KKR 金沢に移して懇親会が催され、日本木材学会本部から服部会長のご参加を頂き、総勢 38 名の参加で和やかなひとときを過ごしました。



懇親会であいさつされる服部会長

2 日目は朝、評議員会が開催され、支部の事業および予算に関する報告や計画が承認され、学会本部から出席頂いた服部会長より、法人化後の対応や代議員選挙について説明を頂きました。

続いて、金沢市歴史建造物整備課の石浦裕治氏を講師に招いて、「金沢市における歴史的な町並み保存・景観保全への取組」と題して特別講演が催され、非戦災都市として歴史的な建物や町並みが数多く残された金沢市において、それらを文化遺産と観光資源の両面から活かすための行政、技術的見地からの施策について紹介があり、講演終了後も熱心な質疑が行われました。

その後、バスで郊外の古民家展示施設「金沢湯涌江戸村」へ移動し、民家移築と保存の状況について見学し、午後 1 時に金沢駅で解散しました。

なお、来年度の支部大会は静岡大学において開催されます。